

「発達障害」とともに生きる 豊かな地域生活応援成

① (単年度助成用) 申込用紙 ※改行無効 (A4×2枚以内に収めてください)

団体について (今後設立予定の場合も含む)

(ふりがな) 団体名		ともにまなぶおうえんだん	
		「ともに学ぶ」応援団	
所在地		〒〇〇〇-〇〇〇〇 △△県△△市〇〇1-2-3	
電話番号		〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
ホームページや 団体 SNS アカウント		www. x x x - x x x x x . or . jp	
代表者	(ふりがな) 氏名	あさひ のぼる	役職、属性、職業等 理事長 △△市民生委員 (児童担当)
		朝日 のぼる	
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
	メールアドレス	x x x - x x x x @ x x x . com	

申込者について

(ふりがな) 氏名	ともに まなぶ
	トモニ 学
団体との関係・役職	「ともに学ぶ」応援団 非常勤職員 (無給ボランティア)
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 △△県△△市〇〇1-2-3 ●●ビルディング456
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
メールアドレス	x x x - x x x x @ x x x . com

団体の活動について

団体の主な日ごろの活動 肢体不自由や知的障害、学習障害を含む発達障害や日本語を母国語としない子どもたちなど、さまざまな個性やルーツのある子ども同士が、同じ地域の同じ学校で一緒に学んでいくために必要な情報を発信したり、交流会を行う活動を実施。		団体の略歴 (設立年月日、活動を始める予定日等) 2012年12月 △△市××地区の地元有志数人で設立。 2015年4月 NPO法人格を取得。 2018年4月~翌3月 〇〇財団より助成金を得てさまざまな個性のある人同士がかかわる楽しさを描いた漫画「いっしょに遊ぶって、大発見!」を発行。	
職員数	有給 無給	名 (活動頻度) 3名 (活動頻度)	月・週 月・週
連携している団体、個人 NPO法人「凸凹の輝く教育」理事長====氏 △△区役所・障害福祉課 〇〇さん		連絡先	住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 ●●県〇〇市==町1-2-3
連携内容 △△区主催イベント「●●●●」にてダイバーシティ教育を考えるワークショップ「◎◎」を共同開催			電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
			代表者 ====さん

記入いただいた情報は、当事業団の規定に従って適切に管理します。また、当事業団のイベントのご案内に利用させていただきます場合があります。

収入	自主財源	会費 年 <u>3,000円</u> × 20人	60,000円	支出	※団体の予算書にもとづいて記入 会場費：144,000円 (1回3千円×月4回×12か月) おやつ代：48,000円 (1回1千円×月4回×12か月) 雑費：20,000円 (チラシ印刷費、文具代など) 保険料：30,000円 (1人1千円×30人) 職員交通費：54,000円 (月1.5千円×12か月×3人) 繰越金：34,000円
		寄付金 100,000円	100,000円		
		収益金 (有料セミナー参加費)	20,000円		
		その他 (バザー収益金)	20,000円		
	助成金・補助金	助成団体： ●●県ボランティアセンター 金額：130,000円	130,000円		
合計 330,000円			合計 330,000円		
これまでに受けた、または定期的に受けている代表的な助成等(※)		助成団体名	助成年月	助成金額	助成内容
		●●県ボランティアセンター	2021年4月	100,000円	
		○○財団	2018年4月～翌3月	1,000,000円	漫画「いっしょに遊ぶって、大発見！」作成費

※「これまでに受けた、または定期的に受けている代表的な助成等」には、①現在受けている助成、②総額の大きいもの、③助成時期の新しいものの優先順で記入。

助成金について

区分	① 学習・研修活動 2. 調査・研究活動 3. 器具・器材の開発・購入 4. 市民への啓発活動 5. モデル的活動 6. その他					
事業名	交流会、座談会「となりのひとはどんなひと？」あそんで話して知り合おう！					
実施期日・実施期間	開始 / 2023年 4月 下旬 日			終了 / 2024年 3月 月上旬 日		
申請理由	<p>個性のある子どもたちが地域にとけこみ、「町の子ども」と広く認識してもらうために障害の有無にかかわらずさまざまな子どもが集える交流会を計画。専門家の手を借りるため、その謝礼と会場費、チラシ印刷費などが必要です。</p> <p>「標準的」でない子どもは、保護者や本人の意思に反して地域の学校に通えないケースがあったり、学校が受け入れを実施しても「標準的な子ども」の保護者から厳しい声をかけられたりすることもある。</p> <p>日ごろから地域に溶け込み、同年代の友人と一緒に過ごすことが当たり前の空気があれば、行政の判断に基づく就学期の分断問題も起きづらくなるのではないかと考え、地域住民同士の横のつながりを強固にするための活動を目指します。</p>					
内容及び計画	<p>●実施頻度：月8回（4回：子どもだけでも参加可能、4回：親同士の交流がメイン）</p> <p>●2023年4月～：広報（チラシのポスト投函、地区掲示板への掲示、学校を通じてのチラシ配布）、5月～翌3月交流会の実施、夏休みと冬休み期間中には別途お楽しみ会を実施。</p> <p>●月に2回、地域子ども家庭課および障害福祉課の担当者によるプチ相談会を実施。</p> <p>●相談会実施中は保育士や看護師、作業療法士を配置。</p> <p>●月に1回、保育士や看護師、作業療法士による「あそびのヒント」フィードバック。かわり方のわからない医療的ケア児と遊ぶヒントなど、持ちネタを紹介してもらう</p> <p>●参加者には会の様子をSNSで発信してもらい、口コミで参加者が増えるように工夫。</p>					
必要な費用の内訳 (今回の申請に関する経費のみを記入)	項目	単価	数量	金額 (a)	うち自主財源 (b)	助成申請額 (c) = (a) - (b)
	謝礼 (保育士、月3回分)	10,000	12	120,000	0	120,000
	謝礼 (看護師、同上)	10,000	12	120,000	0	120,000
	謝礼 (作業療法士、同上)	10,000	12	120,000	0	120,000
	会場費	3,000	100	300,000	0	300,000
	チラシ印刷費	5	1,000	5,000	0	5,000
	おやつ代	1,000	100	100,000	0	100,000
	保険料	100	50	5,000	0	5,000
	雑費	30,000	1	30,000	0	30,000
	合計 (円)				800,000	
助成申請額 (千円未満を切り捨て)					800,000円	

●グループ・団体の広報誌やパンフレット、会則または定款のいずれかを必ず添付し、予算書または決算書を作成している場合は添付して下さい。

●器具・器材の購入や印刷等を業者に発注する場合は、見積書と購入物のパンフレットを添付して下さい。

●見積書は実際に購入・依頼する業者に実質価格（割引後の金額）で作成してもらって下さい。